

地域の情報や身近な話題、
耳寄りな情報をお待ちしています！



↑ Aランク優勝の福ノ浦 A チーム



←熱戦となった会場内

福 自治公民館対抗ゲートボール大会 福ノ浦公民館 A が2年ぶり優勝

町民の健康増進と健全な自治公民館づくりを目的に、6月3日から9日にかけて第8回自治公民館対抗ゲートボール大会が開催されました。

大会には、25の自治公民館から総勢45チームが参加し、A～Cのランク別に1次・2次予選を行い、各ランクの上位で決勝大会を行いました。どの試合も、予選から各チームがしのぎを削り、1打のミスから逆転、再逆転と接戦が続出しました。Aランクでは福ノ浦 A が2年ぶりの優勝を飾り、Bランクでは三船、Cランクは本浦 B が優勝しました。

大会結果は次のとおりです。

Aランク

[優勝] 福ノ浦 A [2位] 塩追 [3位] 薄井

Bランク

[優勝] 三船 [2位] 葛輪 A [3位] 山中 A

Cランク

[優勝] 本浦 B [2位] 菅牟田 C [3位] 浦底9班

↓ ひなにエサを与える親鳥



青 「社会を明るくする運動」伝達・出発式 少年の健全な成長を見守る

毎年7月は「社会を明るくする運動」強化月間です。この運動の啓発を図ろうと7月1日、長島町役場で伝達式と出発式がありました。

この日は、川添健町長へ出水保護区長島支部長の豊田直俊さんが法務大臣から、同支部保護司の荒川紘一さんは県知事から社会を明るくする運動のメッセージ伝達を行いました。川添町長は「青少年の健全な育成と保護に尽力され大変感謝している」とあいさつ。豊田支部長は「これまでの活動で犯罪は減少傾向にある。地域に根ざした活動を今後も行いたい」と述べました。式後は、町内を二手にわかれ街宣活動を行いました。



↑川添町長へメッセージが伝達されました

壊 ザルの中でツバメが子育て 壊れた巣の代用品は？

川床上集落にある児玉製菓では、ツバメが一風変わった巣の中で子育てをしています。

駐車場の天井にある蛍光灯の傘にできた巣の中で、4羽の子育て中だったツバメを見守っていた店主の児玉浩一・さとみさん夫婦と母親の昭子さん。6月のある日、巣が4羽の重みで地面に落下しているのを見つけ、浩一さんがすぐに近くにあったザルで代用し、ひなごと元あった場所に取り付けました。幸いひなにもケガはなく無事に巣立ち、取材時は2回目の子育ての真っ最中でした。

昭子さんは「毎年、巣を作るけど、巣が落ちたのは初めて。無事に巣立ってよかった」と胸をなでおろしていました。